

令和元年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市民ネット・むろらん
議員名	水江一弘・児玉智明・小田中稔・佐藤潤・高橋直美・長岡充洋・滝口紘子
調査実施年月日	令和元年7月29日(月)
調査先 自治体名等	内閣府地方創生推進事務局
調査項目	国家戦略特区 スーパーシティ構想
調査目的	本市に於ける実現可能性
<p style="text-align: center;">報告内容 実施したこと</p> <p style="text-align: center;">感想 (まとめ) 本市へ生かせること等</p>	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口: 人(4. 1現在) 行政面積: km²</p> <p>2 視察内容</p> <p>内閣府が第198回通常国会へ提出した、国家戦略特別区域法改正案の「スーパーシティ構想」について担当者からその内容について説明を受けた。ただこの法案は審議未了で廃案となり、現在は再提出へ向けた準備中のため、あくまでも過程の話である。本来は8月中に公募でエリアを選定する予定で議論が進んでいたが、廃案となったことで、振り出しに戻った。新たな「スーパーシティ構想」は今年度中に基本方針を定め、3～5カ所のエリアを決める方向で準備を進めている。内容はAIやビックデータなど、第四次産業革命における最先端技術を活用した「まるごと未来都市」を目指した複数分野にわたるスマート化の実現で、各省庁にまたがる規制改革を一体的、包括的に実現するものとなっている。この中で示されている個別分野には、本市に於いてすでに取り組んでいるものや、今後取り組みを計画している分野が含まれており、現時点でのハードルは高いものの可能性はあると考える。たとえば、キャッシュレス化、行政手続きワンストップ化、遠隔医療・教育、自動走行、自立可能で最適な電力供給等、本市が目指すべき方向性と合致している。事業費用も詳細は未定であるが、国が主体的に手当てする内容が含まれている。すでにモデル都市として、名乗りを上げる準備をしている都市もあると伺っているため、本市も乗り遅れることの無いよう、準備と研究を進める必要がある。ただこの構想には、マチづくりのビジョンと未来像が描ける、強いリーダーシップを備えた首長の存在が必要とされていることから、市長の決断が決定的に重要である。</p>

<p>感想（まとめ） 本市へ生かせること等</p>	
-------------------------------	--